

令和3年度 NPO 法人訪問 実施報告書

令和3年6月10日
菊川市市民協働センター



■ 目次

1. 目的	．．．．．	P.2
2. 実施概要	．．．．．	P.2
3. 各法人に対するヒアリング結果概要	．．．．．	P.2～17

1. 目的

市内で活動している NPO 法人に現状や課題をヒアリングし、各法人が抱える問題を把握することを目的とする。また、訪問により得られた情報を積極的に発信し、市民のまちづくりへの関心を高めることも狙いとする。さらに、各法人に今夏に開催予定の中高生 NPO 体験セミナーの概要を説明し、受け入れ先としての協力を要請する。

2. 実施概要

訪問日	4月20日(火)～5月21日(金)
場所	各法人の事務所、菊川市市民協働センター
対象法人	市民協働センターに登録している18法人

3. 各法人に対するヒアリング結果概要

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により「利用者が減って資金調達が困難になっている」「県外との交流ができなくなり、活動が縮小された」などの悩みの声が、いくつかの法人から聞かれた。一方、そのような中でも積極的に活動している法人も多く、新たに事業をスタートさせたり、コロナ後の活動のために計画を立てたり、地域社会のために懸命に取り組まれていることがわかった。中高生 NPO 体験セミナーについても賛同が得られ、13 法人から企画書が提出された。市民協働センターとしては、今後も各法人との対話を重ね、地域活性化につながるような支援を続けていきたい。

1) NPO 法人 菊川まちいき

訪問日時	4月15日(木) 19:00～19:45
面談者	理事長 大橋 隆夫 氏/櫻井 恒太郎 氏/三浦 康子 氏/他4名
訪問者	笠原、畠山

【現状(課題等)】

● 経済的な問題

- ・新型コロナウイルスの長期化により事業が実施できず、その分収入がない。

【中高生 NPO 体験セミナーについて】

- ・新型コロナウイルスの影響で今年はイベント開催の予定はない。中高生体験セミナーのために、イベントを企画することもない。
- ・勉強会は適宜開催すると思うので、そこへの参加という形であれば検討できる。DVD 制作を一緒にやってもらうのもよい。

【今後の活動】

● DVD 製作

- ・今年の秋ごろまでは現状のままじっとしていようと思う。その間に DVD 製作を進めたい。

【その他】

- ・プラザきくる 2 階多目的エリア（フリースペース）を利用したが、勉強している高校生が多いので雑談しづらい。高齢者の居場所がもっとあればよいと思う。

2) NPO 法人 小規模多機能ホームようこそ

訪問日時	4月20日（火）9:45 ～ 10:35
面談者	代表理事 伊藤 伊佐子 氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状（課題等）】

● 後継者の確保と育成

- ・時間的な余裕はない。数年の間に解決しなければいけない問題である。
- ・現在働いているメンバーは自分と同世代の人が多く、後継者を見つけて育成したい。
- ・代表と同様に、副代表や理事の後継も育てていかなければいけない。そのためにも、若い人を 2～3 人雇用したい。

● 人材不足の解消

- ・70 歳前後の職員が昨年度末に 4 人退職した。
- ・派遣会社からの営業は多いが、給与水準が高いので頼めない。ずっと「ほんわか、あったかい」を理念にやってきたので、そこに馴染めるかも不安がある。
- ・介護の現場は人材不足。週に 1～2 日のダブルワークでもよい。
- ・5 月から相談員が入る。
- ・5 月に保育士資格を持った 21 歳の女性が入る予定だが、体験後に保留になっている。

<協働センターから>

高校生や大学生に関心を持ってもらうためには、職場体験の機会を提供すればとの話があがった。学生の実習先を探している学校もあるかもしれない。磐田に福祉の専門学校があるのでそこに相談しに行くのもよい。体験をした学生が将来 1 人でも入ってくれば意義は大きい。

【今後の活動】

● 地域とのつながり

- ・具体的に考えているわけではないが、もっと地域とつながりたい。
- ・例えば、すぐ隣にある畑を借りて、そこで野菜を育てて販売したり、近所の人たちを集めて芋煮会のようなことができればと思う。管理の負担を理由に畑を借りるのはやめたが、最近2列だけようこそで使わせてもらえることになった。まずはその部分をうまく使っていきたい。
- ・仕事を定年退職した人たちが近所にも多いので、そういう人たち（特に男性）に畑作業を手伝ってもらえればよい。地域とのつながりにもなる。

<協働センターから>

菊川市主催のセンター会議で社会福祉法人の生活支援コーディネーターにつながってもらうよう依頼する。将来的にNPO法人とコミ協がつながるきっかけになり得る。

3) NPO 法人 菊川市体育協会

訪問日時	4月21日(水) 10:45 ~ 11:30
面談者	事務局長 鈴木 眞行 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状（課題等）】

● イベントや教室の開催

- ・コロナ禍の影響によりまだコロナ以前のように活動できない。手洗い・ソーシャルディスタンス等に気を配りながら実施しているが、教室を開催しても人が思うように集まらない。
- ・陸上選手権、菊川 City マラソン、駅伝等のイベントを開催するかどうかが悩んでいる。昨年度はコロナ禍の影響で大会が中止になった。子供たちの成果を発表する場がなくなったことが、一番影響が大きかった。

● 施設・公園の利用

- ・体育館の使用は昨年10月までは非常に少なかったが、今はかなり戻った。昼はブラジル人学校が5年前から使用しており、利用率の向上に一役買っている。
- ・昨年から引き続き、運動公園等でのスケートボードの使用が問題となっている。利用者のマナー向上が課題である。

【中高生NPO体験セミナーについて】

- ・社会教育課を通して夏の大会のボランティアを依頼しているため、体験セミナーを受け入れる予定は現時点ではない。

【センターに支援してほしいこと】

- ・適宜連絡する。スケートボードの件は引き続き相談する。

【今後の活動】

- ・新型コロナウイルスの予防接種の状況を見ながら、安全に留意してできる範囲で活動していく。

4) NPO 法人 静岡県教育フォーラム

訪問日時	4月21日(水) 13:15 ~ 14:00
面談者	理事長 山下 泰孝 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状（課題等）】

● クラスの状況

- ・生徒は12人、2クラス。連休明けに日本国籍でブラジル生まれの2名と面談予定。連休明けから14人になるので、3クラス編成になる。
- ・現在は学年によりクラス編成を行っているが、今後は日本語の習熟度にあわせたクラス編成を考えている。新型コロナウイルスが落ち着くまでは、飛行機の行き来が無いため生徒が増えないだろう。

● 学校の場所

- ・もう少し民家から離れた場所に引っ越したいが、公園やグラウンドに近いことや家賃の問題があるので、条件にあった場所がなかなか見つからない。

【中高生NPO体験セミナーについて】

- ・2人程度なら受け入れ可能。

【センターに支援してほしいこと】

- ・助成金等の情報提供。

【今後の活動】

- ・現在、小学1年生はひらがなとカタカナを習得した後、地域の小学校へ転入して

いる。今後は、小学校入学前の3月に準備を行い、直後の4月からスムーズに入学できるようなプレスクールの機能を持ちたい。

5) NPO 法人 Power UP

訪問日時	4月21日(水) 14:15 ~ 14:45
面談者	理事長 鈴木 太山 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状(課題等)】

- ・静岡県教育フォーラムからの依頼で週3日受け入れていた方が、4月から大学に進学した。このように社会に戻った姿を見ることができて非常に嬉しい。
- ・若い世代の人材が引きこもりになっていくのが非常に惜しいので、社会に出ていけるように引き続きサポートしていきたい。気軽に電話しやすい雰囲気を作る等のブランディングを行っていく。
- ・ビジネスとNPO活動を行っていくにあたり、補助金を利用したり、資金を回したり等の仕組みを考えていく。

【センターに支援してほしいこと】

- ・助成金等の情報提供。
- ・対面やZoomで講演会の実施を考えているので協力をお願いしたい。

【今後の活動】

- ・ターゲットを10代、20代にしぼり、ぶどう狩り等の個人で体験できるものを増やしていく。また、引きこもり体験を互いに共有し、つながりができるような会を開催したい。今はコロナ禍が治まった時に活動できるように準備をしていく。

6) NPO 法人 傾聴・お話しボランティア

訪問日時	4月22日(木) 9:30 ~ 10:00
面談者	理事長 宮城 すみ江 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状(課題等)】

- ・コロナ禍で活動は休止中。
- ・今年度の計画は例年通り活動することを前提に事業を計画している。コロナ禍で人々の価値観も変わってきた。傾聴を通して大切なことを見つめ直すきっかけにしたい。

【中高生 NPO 体験セミナーについて】

- ・デジタル化が進む中、学生が将来に生かせるような次世代人材育成講話を開きたい。今年で7回目だが、今まで市内のほとんどの中高等学校の参加があるが、菊川東中の生徒だけは未参加なので参加してもらえたら嬉しい。

【センターに支援してほしいこと】

- ・6月に総会を開くので、法務局に提出する書類など NPO 法人の事務手続きについて教えてほしい。

7) NPO 法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会

訪問日時	4月22日(木) 10:45 ~ 11:30
面談者	理事長 ルビオ・ダ・ロジャ・マルシア 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状（課題等）】

- ・コロナ禍の影響で授業が少ない。英語クラス、日本語のサポートは終了した。
- ・コロナで心の問題を生じている人がいるため、6~8人が集まって体を動かす大人向けの運動クラスを、セラピーを兼ねて実施している。子供たちはクラシックバレエを行っている。

【中高生 NPO 体験セミナーについて】

- ・日本人の子どもたちにポルトガル語を教えるクラスに参加してもらおう。8/21(土)と8/28(土)の10-12時を予定。

【センターに支援してほしいこと】

- ・フェスタジュニーナをきくろの広場で開催したいので、実現できるようサポートしてほしい。

【今後の活動】

- ・コロナが収束したら、国際交流協会の助成金を得て行っていた宿題サポートを再開したい。

8) NPO 法人 ベース・キャンプ

訪問日時	4月22日(木) 13:15 ~ 14:00
面談者	理事 鈴木 かおる 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状（課題等）】

- ・現在は4名が障がい者支援の為に通っており、うち1名の就職が決まっている。
- ・就労支援を体験したのち、就職する人もいれば長い時間かかる人もいるが、この人なりの社会生活の送り方を見つけることができるよう今後もサポートしていく。

【センターに支援してほしいこと】

- ・掛川市で実施している青年学級「この指とまれ」のような、ボランティアと共に行うアート部門の活動を希望している。

9) 認定 NPO 法人 災害救助犬静岡

訪問日時	4月24日(土) 15:00 ~ 15:45
面談者	専務理事 市川 金子 氏
訪問者	笠原、畠山

【現状（課題等）】

● 施設の老朽化

- ・訓練施設の老朽化が著しい。先日も階段が壊れたばかりだ。建て直す資金も無ければ人材もいない。どこに働きかければよいかもわからない。

<協働センターから>

クラウドファンディングで寄付を募ってはどうか。災害救助犬はその使命が明確で、かつ犬が好きな人が多いため、クラウドファンディングに向いていると考える。広報担当の中山史一氏にも話をし、実施に向けて一緒に支援したい。

⇒ どこをどれくらい直すのか、まずは災害救助犬静岡の中で話し合う。施設の老

朽化対応だけでなく、出動時に使うポータブル電源の購入費用も必要になるので、それも含めて検討する。

【今後の活動】

- 救助犬の能力向上
 - ・救助犬の基礎能力の底上げが今年度のテーマになる。
 - ・実践的な練習も取り入れていきたい。例えば、出動した際に車両から現場まで長い距離を歩かなければいけないことがあるので、そういうことを想定した訓練を行いたい。過去には救助犬の排尿が理由で現場に着くのが遅れてしまったというケースがあった。他には、ターゲットを捜索班も知らないところに隠して捜索させるという訓練も計画している。
- 組織と人材の育成
 - ・責任が特定の人に偏らないように、組織をグループ化して責任を分担する。
 - ・認定試験は1月末に行なっているが、練習への動機づけとしてプチ認定試験のようなものを実施したいと考えている。
- 今後の主なイベント
 - ・9月 防災訓練（菊川運動公園）
 - ・11月 緊急消防援助隊全国合同訓練（富士山静岡空港）

10) NPO 法人 しずおか

訪問日時	4月27日（火）9:30～10:30
面談者	飯嶋長雄氏 / 理事長 進士由紀子氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状（課題等）】

- しずおか未来カレッジ
 - ・今年度よりしずおか未来カレッジを開校した。これは特別支援学校からの要望を受けて設立したもので、障がい者の就労後の職場定着を目的に、自立訓練（ライフトレーニング）と就労支援（ジョブトレーニング）の2つの課程を設けている。
 - ・ライフトレーニングでは基礎体力要請、読み書き能力、パソコン操作などの他に生産活動や体験学習を通して、働く意味を考えたり、世の中のことを学んだりできるプログラムがある。
 - ・ジョブトレーニングでは、職場において自分の考えを適切に伝えられるようにコ

コミュニケーションスキルを学ぶ講座や、キャラクターデザインなどのクリエイティブ講座を取り入れている。

- ・生産活動の場として「未来ファーム」を整備した。ここの農地を使ってサツマイモなどの栽培をしている。また、ファームの一画にある古民家カフェでは、演奏会ができるようになっている。将来的にはファームを地域交流の場にしていきたい。
- ・未来カレッジの運営組織については検討中。
- 新型コロナウイルスの影響
- ・ボランティアや体験学習の受け入れは、新型コロナウイルスの影響でしばらくできていない。

1 1) NPO 法人 KFC

訪問日時	4月27日(火) 10:45 ~ 11:30
面談者	理事長 笠井 徹 氏 / 鳥海 氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状（課題等）】

● 新型コロナウイルスの影響

① 大会運営

- ・選手とスタッフは大会の2週間前から毎日検温を行い、それをチェックシートにまとめて本部に提出しなければいけなくなった。大会当日もベンチではマスク着用を徹底したり、食事の仕方に気を遣ったりしなければならない。
- ・協会から支部をまたいで試合に行かないよう忠告されている。浜松や静岡には行けなくなってしまった。
- ・大会の開催時期については、今年は全体的に前倒しの傾向にある。そのため、多くが重なってしまっているのではないかと懸念がある。

② 練習環境

- ・体育館は人数制限がかけられている。70人以上の会員がいるため、体育館での練習の時は、時間を分けて対応しなければいけない。フルに時間を使えないことになるので、練習不足で試合に臨まざるを得なくなる懸念がある。
- ・コロナ禍という状況を考慮して無理に練習に参加しろとは言えないが、今はほとんど全員が来てくれている。

③ コミュニケーション

- ・協会主催の会合がまったく無くなったので、情報が掴めなくなった。

・法人の総会は一定の人だけ集めて開こうと思っているが、まだはっきりしていない。会場はいつも小笠支所を借りているが今は人数制限がかかっている。そこもクリアしなければいけない問題だ。

● 体育協会との連携

・体育協会との連携はやめた。コーチがいないし入ってくる子もないことが理由だが、一番の理由は当初の趣旨から外れてしまったと感じたからである。最初は、幼稚園児に球技全般を経験してもらって、小学校に上がった段階で自分の適性に合った種目を選んでもらうという趣旨だったが、ある時期からサッカーだけに偏ってしまった。

【中高生NPO体験セミナーについて】

・KFC カップを7/24、7/25、8/7、8/8のどこかで3日間開催する予定なので、その運営の手伝いとして受け入れたい。

【今後の活動】

● 部活動廃止への対応

・2025年度から中学校の部活動が廃止されると聞いている。そうなった場合、サッカーがしたいのにできない中学生が発生する。クラブチームはあるが、セレクションにより1チーム20名くらいしか入れない。何らかの受け皿を用意しなければいけない。

・クラブチームを新たに作るのは、資金や人材、経営リスクの点で難しいと考えている。個人的には菊川市でチームを作って、御前崎市や掛川市もあわせて地域リーグのようなものが発足できないかと思っている。そのための手伝いはしたい。

12) NPO 法人 ミライ

訪問日時	4月28日(水) 9:45 ~ 10:30
面談者	理事長 黄地 潔 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状(課題等)】

・新型コロナウイルスの影響で生徒数が減っている。G.W.明けから来なくなる子が4~6人いる。

・小笠北小学校から、放課後にブラジル人の生徒を見てほしいとの依頼があった。今はミライを卒業した子どもたちに放課後学習を提供しているので、外部の依頼

にこたえるのは難しい。

【中高生NPO体験セミナーについて】

- ・8月に5人程度の受け入れを予定している。個人的に要望があれば、セミナー後も引き続き受け入れることを検討する。

【センターに支援してほしいこと】

- ・公認会計士の杉山さんに消費税の納入について相談したい。
- ・今の状況だと借金の返済が難しい。
- ・市の公共施設の跡地で使用していない土地を借りることができないだろうか。

【今後の活動】

- ・子どもたちが日本語、英語、ポルトガル語の3言語を身に付けて将来活躍できるよう、引き続き教育を行っていく。

1 3) NPO 法人 ハートあんどハート菊川

訪問日時	4月28日(水) 10:45 ~ 11:30
面談者	理事長 沖 美保子 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状(課題等)】

- ・制度を利用した訪問介護は9月30日で終了する。理由はヘルパーの高齢化。自分たちも高齢なのに高齢者の支援を行うことは体力的に負担になる。
- ・スタッフに代わりがおらず運営を維持するのが難しい。収入面でも決して良い仕事とは言えない。

【センターに支援してほしいこと】

- ・成功事例をコミュニティ協議会に伝えたいので、その支援をしてほしい。
- ・他には事業所のPRとスタッフ紹介等。

【今後の活動】

- ・制度に縛られないNPOならではの援助を行っていききたい。
- ・年明けから新しい事業を始めたい。制度による活動だけではなく、地域や個人とつながるのが大事なので、地域のその人の存在感を大切にしていきたい。

- ・通院の付き添いや買い物の援助、1人では行けないお墓参り等、制度では補えない援助を行っていく。そのためにプロジェクトチームを6月に発足させる。

14) NPO 法人 生活支援施設かすみ草

訪問日時	4月30日(金) 9:45 ~ 10:30
面談者	理事長 高塚 和彦 氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状（課題等）】

● 運営状況

- ・現在、幼児保育は16名、学童保育は62名を受け入れている。学童に関しては、毎年夏休み限定でプラス20名くらい増える。
- ・幼児保育の定員が26名なので、学童保育とのバランスも含めてもう少し増えているが、現状は認可保育園の方に人が流れている。これから仕事をして子どもを預けたいと考える人が出てきてくれればよいのだが、今後は子どもの数が減って需要も少なくなるだろう。
- ・募集は特別にしていない。現在通っている子の親たちは、かすみ草のことを前に通っていた子の親からの伝え聞きや市役所の案内で知った人が多い。

● 今後の課題

① 後継者への引継ぎ準備

② 少子化への対応

- ・5~10年先を見据えて、かすみ草の魅力と付加価値を上げて、競争力を向上させたい。
- ・例えば、収益事業を増やしたい。現在は学研教室を運営しているが、それに加えて子どもやお母さんたちの居場所づくりのようなこともしたい。

【中高生NPO体験セミナーについて】

- ・基本的には、子どもたちとふれあったり遊んでもらったりというかたちになると思う。
- ・(短時間開催について) 本当は時間を長くとお昼も一緒に食べながらやりたいが、このような状況では仕方がない。

【その他】

- コミュニティ協議会とNPOの関わり

- ・自治会長をやってみて感じるのは、NPO の存在が地区でほとんど知られていないということ。
- ・自治会では例年やることは決まっており、外に目を向けて新しいものを取り入れようという意識がなくその余裕もないので、NPO が入ってこられる状況ではない。
- ・コミュニティ協議会や自治会に NPO が関わるとすれば、地区センター祭りなどの行事に関与すればうまくいくかもしれない。

1 5) NPO 法人 COCO

訪問日時	4月30日(金) 10:45 ~ 11:30
面談者	理事長 溝口 千津子 氏 / 木村 裕二 氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状（課題等）】

● ちょこっと絵画展の開催

- ・鈴木敦子さんの個展「ちょこっと絵画展」をとりの COCO で開催している。大須賀ちっちゃな文化展での展示がコロナの影響で中止になってしまった代わりとして、木村さんが発案して実施に至った。

● 新型コロナウイルスの影響

- ・集って交流するのが難しい状況が続いており、実際に顔を見て話す機会も減っている。高齢者や障がい者などリスクの高い人が多いため、事業を行うにも十分に注意しなければならず常に緊張感はある。自主性を発揮しようにもなかなかできない状況にある。
- ・そのような中で、昨年はあたふたして何もできなかったが、今年は絵を展示したり本をそろえて並べたり、情報の発信に努めている。黒板を使った伝言板もそのひとつで、学用品の寄付を集うメッセージを掲げるなど、人と人をつなぐ架け橋として機能している。
- ・工夫したりアイデアを出し合ったり、プロセスを意識すればコロナ禍でも悲観することはない。人と人がつながることに悲観していたら孤独になってしまう。どんな状況であろうと取り組んでいきたい。

【今後の活動】

● オンラインの活用

- ・IT に関しては年齢的な面でなかなか機動力を発揮できていない。しかし、高齢者

でもオンラインを活用し始めている。例えば、ゆめ風基金の総会はオンラインで実施している。今後はコロナ関係なくオンラインが主流になっていくと思う。オンラインとオフラインのバランスを取りながら対応していきたい。

- ・5/11 開催「人生 100 年時代のインターネットの楽しみ方」に木村さん参加予定。

【その他】

- ・創作物を展示するためのギャラリーが市民に提供されていれば良いと思う。市民がせっかく創ったものを見てもらう場がなかなかない。

1 6) NPO 法人 うまのあと

訪問日時	4月30日(金) 13:15 ~ 13:45
面談者	理事長 小林 雅幸 氏
訪問者	笠原、畠山、塩澤、山田

【現状（課題等）】

● 運営の状況

- ・組織運営はほとんど自分が行っているように感じるが、理事は他に3人おり理事会にも毎回集まっている。馬のことはインストラクターの人に任せているし、50代のスタッフ2名が牧場によく来てくれている。スタッフには今後は馬のことだけでなく、まちづくりにも関わってもらいたいと思っている。
- ・ハピホル体験会を1回/月に開催しており、お客さんもそれなりにいる。先日はミルクィ☆メロディ X のメンバーに来てもらった。

【中高生NPO体験セミナーについて】

- ・開催候補日は、7/31(土)、8/1(日)、8/2(月)、8/21(土)、8/22(日)。この中のどこかで実施できればと考えている。
- ・実施する時間は、熱中症の心配があるため16:00~18:00にする。

【今後の活動】

● 牧場の整備

- ・雨が降って荒れた牧場を自分たちで整備しようと試みたが、うまくできなかったので業者に委託するしかない。その後、自分たちで植物を植えるなどして景観を整えていきたい。

17) NPO 法人 里山再生クラブ

訪問日時	5月6日(木) 13:30 ~ 14:15
面談者	理事長 堀 守夫 氏
訪問者	笠原、畠山、山田

【現状(課題等)】

● 活動状況

- ・活動現場は4か所(島田市相賀、牧之原市切山、菊川市神尾、菊川市東横地)あるが、そのうちの2か所で農林事務所への申請結果が芳しくなかった。審議会において今までにない条件が突きつけられて、計1.8ヘクタールのうち0.6ヘクタールで活動できなくなってしまった。
- ・しかし、悪い話ばかりではなく状況は好転している。菊川市神尾で自治会との調整が難航し、活動範囲を縮小せざるを得ない事態に追い込まれていたが、昨日話がまとまり当初の希望通り実施できることになった。

● 組織運営

- ・常に10人くらいで活動しているが、今いるのは7人。増員に向けて今後3人くらいと採用面接をする予定。今いるメンバーは60代以上の人が多いが、40代も2人いる。
- ・働き方改革の一環として週4日勤務制を導入した。勤務時間は7:30~16:30。

● 新任理事

- ・速水氏を理事に任命した。今後新しいこともやっていきたいので、速水理事には竹の活用方法について研究してもらっている。

18) NPO 法人 せんがまち棚田倶楽部

訪問日時	5月21日(金) 9:45 ~ 10:30
面談者	事務局長 堀 延弘 氏
訪問者	笠原、塩澤、山田

【現状(課題)】

- ・静岡大学との往来は現在制限されていない。静大の棚田サークルは、1年生が20人入り全体で46人になった。昨年度サークルに入れなかった2年生も今後加わる予定。
- ・小型トラクターを導入して、繁茂していたヨシの株を掘り起こし平らにした。

- ・ 昨年はイノシシによる被害が大きく、電気柵が踏み倒される等、米が被害にあった。鈴与株式会社から 50 万円の支援があったが、麴用の米を含めてほぼ全てがイノシシに食べられてしまった。
- ・ 今年はダイトードリンコからも支援を受ける。
- ・ 今年のオーナーは 45 組。菊川市内の双葉こども園のママ友つながりでオーナーが増えた。募集はあまりしなかったが、口コミ等で申し込みが多かった。

【今後の活動】

- ・ 柵田は 3 分の 1 しか復元できていないので、残りの部分を復元したい。
- ・ ビオトープを設置し生き物を増やしていきたい。子どもたちに柵田の良さをしっかりと伝えていきたい。